

# 地方創生の先駆者

5/1 「岩切章太郎の実践観光哲学」出版

宮崎交通の社長・食、相談役として観光宮崎を育てた岩切章太郎（明治26年～昭和60年）の観光は地方創生の切り札であり成長戦略の柱。岩切哲学を集成した「地月」編著者の富田氏は、「観光」を通じるもののが数多くある」として観光や経済界、行政関係者に読んでいただきたと書いている。

宮崎交通の社内報「無尽灯」の昭和28～57年のうち岩切が執筆した観光

岩切章太郎



出版された「地方創生の先駆者 岩切章太郎の実践観光哲学」



哲学や著書「心配するな工夫せよ」、講演集「自然の美、人工の美、人情の美」「私の履歴書」などを底本に編集されている。

岩切に側近として仕え、没後も岩切の教えや功績を語り継いできた渡辺綱紀氏が全体を監修している。

渡辺氏は「監修を終えて」「いま、地方創生」と各地で呼ばれている。

しかし、地方創生という言葉が全く使われていなかった時代から岩切章太郎翁はその観光哲学を通じて地方創生を実践してきた。そのことを教科書と

してまとめたのが富田敏之さんである。まさに画期的な大事業と認めなければならない」と記している。